

事業番号	05 02 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	救命救急医療対策事業	部局	健康福祉部	課・室	医療政策課				
		実施期間	S54 ~	E-mail	iryoy@pref.nagano.jg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	⑦健康寿命								
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実								

1 現状と課題

・円滑な医療救護活動のため、メディカルコントロール体制の充実強化を図る必要がある。
 ・災害時における円滑な医療救護活動のため、DMATなど医療チームの派遣体制の整備、関係機関間の連携強化などを行う必要がある。

2 事業目的

救急医療提供体制及び災害時の医療提供体制の確保

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①救急医療機関や災害拠点病院への支援
- ・病院群輪番制病院や救命救急センターの施設・設備整備等の支援
 - ・災害拠点病院の施設・設備整備等への支援
- ②災害医療体制の整備
- ・県の災害、救急医療体制についての専門家による連絡会を開催
 - ・DMAT体制整備のための連絡会を開催

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	救命救急センターの充実度評価A以上の割合	%	100	100	→	100	→	100	達成	救命救急センターの充実度評価A以上の割合（100%）を維持するため	
②	気管挿管技能認定救急救命士再教育講習の累計受講者数	人	296	332	↗	368	↗	368	達成	気管内チューブによる気道確保を行う際に必要な知識、技能を維持するため	
③	長野県DMAT養成研修修了者数	人	350	394	↗	434	↗	426	達成	大規模災害発生に備え、DMAT隊員の必要数を確保するため	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	1,127,863	△ 205,875	921,988	519,568	785,329	2.2
R3年度	0	1,095,718	△ 251,426	844,292	424,559	809,931	2.2
R2年度	36,227	1,121,850	△ 145,929	1,012,148	390,689	965,110	2.2

事業番号	05 02 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	救命救急医療対策事業		部局	健康福祉部	課・室	医療政策課		

6 主な取組実績と成果

①救急医療機関や災害拠点病院への支援

- ・病院群輪番制病院、災害拠点病院等の機能を強化するため、11施設の施設・設備の整備に対し、総額31,439千円の支援を行った。
- ・救急医療を確保するため、救命救急センターに対する運営費（4施設 158,731千円）や施設・設備整備等（2施設 3,219千円）に対する支援を行った。
- ・長野県メディカルコントロール協議会を1回開催し、構成員から救急医療に関する意見をいただくとともに、メディカルコントロールに関して消防士を対象とした研修を実施し、救急救命処置の質の向上を図った。（気管挿管再教育講習1回、ビデオ喉頭鏡追加講習2回）

②災害医療体制の整備

- ・災害拠点病院連絡会議を1回、DMAT連絡会議を2回開催し、今後の災害医療体制の整備について検討を行った。
- ・地域災害医療コーディネーターや地域災害医療本部構成員を対象とした災害医療コーディネート研修には43名の方に参加いただき、地域実情を踏まえた災害医療について研修を行った。参加者からは、充実した内容であったなど好評な意見をいただいた。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	救命救急センターの充実度評価A以上の割合	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
充実度評価項目には医師等の配置状況、搬送受入要請への応需率の把握との改善への取組み、手術室や検査室の体制等があり、運営費への支援や施設・設備の整備に対する補助を行うことにより引き続き目標を達成した。							
指標②	気管挿管技能認定救急救命士再教育講習の累計受講者数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
気管挿管技能の周知・普及拡大により認定者数が増えているところであるが、前年度に引き続き1回の再教育講習と周知を図り、目標を達成した。							
指標③	長野県DMAT養成研修修了者数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
長野県DMAT養成研修修了者数は、県内のDMAT指定病院に広く受講者を募集し、またコロナ対策を行い研修を実施したことで、目標を達成した。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・長野県メディカルコントロール協議会を開催するなど、メディカルコントロール体制の強化に努めた。一方で、協議会の構成員からは、協議会の開催回数が少ないため、さらに協議会を頻回に開催し体制を拡充していくことが求められている。
- ・災害発生を想定した訓練やDMAT養成研修を実施し、災害時における医療提供体制の確保を図った。
DMAT養成研修については県内DMAT指定病院からの受講希望者も多くいるため、引き続きの実施や研修の充実に努めていきたい。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・消防士を対象としたメディカルコントロールに関する講習を引き続き実施するほか、長野県メディカルコントロール協議会を充実させる等、メディカルコントロール体制の強化を図り、救急医療提供体制の確保を図っていく。
- ・令和4年度に実施した訓練や研修については、参加者から好評な意見をいただいていることから、来年度も引き続き実施し、災害時における医療提供体制の確保を図っていく。

事業名	救命救急医療対策事業	部局	健康福祉部	課・室	医療政策課
-----	-------------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	救急緊急医療費損失補てん事業	2,363 千円	2,363 千円	2,363 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	救急緊急医療費損失補てん事業	補助金	医療機関が救急医療を提供した結果、未収となった医療費に対して補助 11施設 2,363千円	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	広域災害・救急医療情報システム運営事業	39,927 千円	36,048 千円	43,070 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	広域災害・救急医療情報システム賃借料等	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの賃借及び運用に係る必要経費 ・全国統一システム稼働に向けた移行データ作成経費 システム賃借・運用経費32,169千円、移行データ作成経費10,901千円	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	長野県救急医療機能評価会議（仮称）運営事業	0 千円	0 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	救命救急センターの機能評価	直接	救急医療機能評価会議（仮称）の開催 新型コロナウイルス感染症により中止	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	救命救急センター運営費補助金	196,530 千円	221,987 千円	158,731 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	救命救急センター運営費補助金	補助金	救命救急センターの運営費（給与費、材料費等）を支援 4施設 158,731千円	

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	ドクターヘリ運航事業		505,490 千円	517,544 千円	537,806 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ドクターヘリの運航	補助金	ドクターヘリの運航に要する経費に対して助成 2施設 537,798千円		
2	電波利用料負担金	負担金	ドクターヘリの運航に係る無線局の電波利用料 電波利用料 8,300円		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	救急医療対策費施設・設備整備事業		218,271 千円	28,260 千円	34,658 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	救急医療対策費施設・設備整備事業補助金	補助金	(1)病院群輪番制病院施設・設備整備事業 (2)地域災害拠点病院施設・設備整備事業 (3)救命救急センター施設・設備整備事業 (4)在宅人工呼吸器使用者非常用電源整備事業 (5)非常用自家発電設備及び給水設備整備事業 (1)4施設 25,440千円、(2)3施設 5,737千円、(3)2施設 3,219千円、 (4)1施設 181千円、(5)3施設 81千円		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	長野県メディカルコントロール協議会		388 千円	289 千円	429 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県メディカルコントロール協議会・部会の開催	直接	県メディカルコントロール協議会・部会を開催 開催数 1回		
2	気管挿管再教育講習の実施	直接	気管挿管再教育講習の実施 実施数 1回		
3	ビデオ喉頭鏡追加講習の実施	直接	ビデオ喉頭鏡追加講習の実施 実施数 2回		
4	県メディカルコントロール講習会の実施	直接	県メディカルコントロール講習会を開催 新型コロナウイルス感染症により開催中止		

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
8	災害医療体制整備事業	2,141 千円	3,440 千円	8,272 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	災害・救急医療体制検討協議会等の開催・運営	直接	災害・救急医療体制検討協議会、災害拠点病院連絡協議会、DMAT連絡会議、災害医療コーディネート研修等を開催 開催数 災害拠点病院連絡会議1回、DMAT連絡会議2回、災害医療コーディネート研修1回	
2	災害医療研修会の実施	委託	災害医療関係者の資質向上のための研修を実施 実施数 1回	
3	長野県DMAT養成研修等の実施	直接 委託 補助金	・災害時に長野県DMATとして活動する者を養成 ・長野県DMATの資質向上のための研修を実施 養成数 42名 実施数 長野県DMAT養成研修1回	
4	各種訓練への参加	補助金	政府主催総合防災訓練へ参加する者に対して経費を補助 参加者数 55人	
5	DMAT活動保険料	直接	DMAT傷害保険への加入 保険料総計 20,834円	
6	災害時通信体制の整備	直接	災害時情報伝達研修や衛星携帯電話等による災害時通信体制の構築 衛星携帯電話整備数：12台 研修実施回数：1回	
7	航空搬送拠点臨時医療施設（SCU）の運用体制の整備	直接	SCU設置運営訓練の実施やSCU用医療機器の点検・更新等 購入物品 除細動器 1式	